

■ 株主メモ

証券コード	7716
事業年度	1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
株主確定基準日	定時株主総会議決権行使の基準日 12月31日 期末配当金の基準日 12月31日 中間配当金の基準日 6月30日
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同連絡先	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 0120-782-031(フリーダイヤル)
公告方法	当社ホームページに掲載します。ただし、やむを得ない事由によって電子公告することができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード
お知らせ	<ul style="list-style-type: none">● 住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について 株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設された株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。● 未払配当金の支払いについて 株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

ビジネスレポート郵送廃止のお知らせ

当社は従前よりビジネスレポートをお送りしてまいりましたが、地球環境への配慮から、紙面でのご送付は今号をもって廃止し、今後は当社ウェブサイト (<https://www.nakanishi-inc.jp>) に掲載することにいたしました。株主の皆様におかれましては、何卒ご理解いただきますとともに、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。



表紙: NSK STUDIO

世界中のより多くの方々に「美しくかけがえない歯と地球環境を大切にしたい」というナカニシの想いを知らせていただくために「NSK STUDIO」を立ち上げました。世界的映像クリエイター牧野惇氏による3DCGアニメーションを是非ともお楽しみください。
https://japan.nsk-dental.com/brand/nsk_studio/



BUSINESS REPORT

第71期決算期 2022年1月1日～2022年12月31日

株式会社ナカニシ

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2022年度は堅調な世界需要に支えられ、歯科・外科・機工すべての事業で増収増益となり、連結業績も二期連続で過去最高を更新することができました。

コロナ・パンデミック発生当初、競合他社が次々に事業を停止する中、当社は事業継続を決断しました。ウイルス感染に細心の注意を払いながらも世界各地でお客様に寄り添い続けた結果、皆様から絶大な信頼を獲得することができました。これが現在に至る事業急拡大の大きな原動力になっています。

歯科・外科・機工の各事業において、世界中のお客様から多数の注文をいただく一方で、部品不足の長期化と、コロナ感染による慢性的な生産欠員等から生産が追い付かず、結果として納期が長期化する傾向が続いています。お客様からのご期待にタイムリーにお応えするべく、足元では生産増強に向けた施策を鋭意進めています。

昨年竣工した新工場「A1+」では精密部品の増産や自動化の推進が緒に就き、本社敷地内に建設予定の新組立工場「M1」は今年4月に着工する予定です。また、中国ロックダウン生産工場では今春から生産開始する予定で、バイ・チャイナ政策にも的確に対応していきます。

持続的な成長を遂げるための経営基盤の整備は着実に進展しており、さらなる成長の機会を掴んでまいります。そして、長期ビジョン「VISION2030」の実現と、その先の将来への飛躍に向けて、世界のナカニシグループ全従業員がONE TEAMとなって前進し続けてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも当社の成長にご期待いただくとともに、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長執行役員
中西 英一



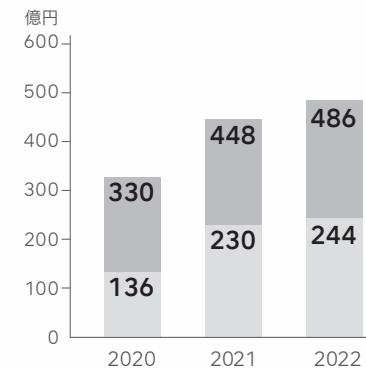

2022年度の業績概要

堅調な世界需要を着実に取り込み歯科・外科・機工のすべての事業で増収増益となり、連結業績は二期連続で過去最高を更新しました。米ドルやユーロ等の主要な取引通貨に対する円安進行で業績がかさ上げされたものの、これら為替の影響を除外しても過去最高となった前期業績の水準を維持しました。サプライチェーンの混乱による部品不足が長期化する中、市場品の買い付けや調達容易な部品への切り替え（設計変更）によって生産活動への影響を最小化したことで、過去最高業績の更新につながりました。

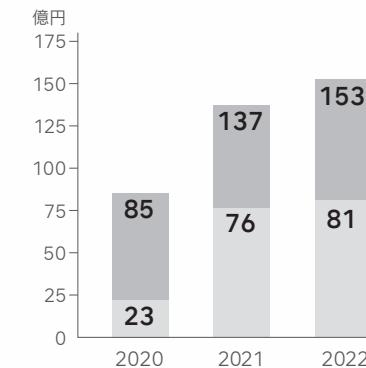
四半期売上高の推移



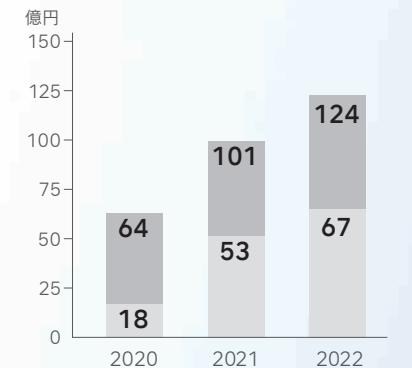
■ 第2四半期(累計) ■ 通期(累計)



■ 第2四半期(累計) ■ 通期(累計)



■ 第2四半期(累計) ■ 通期(累計)



歯科事業

Dental Business

補綴歯科治療・歯周病治療・訪問歯科治療・インプラント治療等、広範な歯科治療をカバーする歯科治療機器の開発・製造・販売を行っています。



歯科用ドリル
Ti-Max Zシリーズ



インプラント用モーター
Surgic Pro2



超音波スケーラー
Varios Combi Pro



高圧蒸気滅菌器
iClave mini2

歯科事業売上高の推移



2022年度・事業概況

地域	販売動向 前期比	概要
国内	↓	助成金終了に伴う需要減は底打ちし、下半期は増収に転換
欧州	↑	特に英国・北欧・スペインでの販売が好調に推移
北米	↑	自社製品が大幅伸長し、市場シェアは過去最高に到達
アジア	→	中国ロックダウンやゼロコロナで、販売は前期並み
その他	↑	豪州・中近東は堅調で、南米では大幅増収を達成

外科事業

Surgical Business

脳神経外科・脊椎脊髄外科・整形外科等の医療分野で使用される外科手術用骨切削ドリルの開発・製造・販売を行っています。



外科用電動ドリル
Primado2
コントロールユニット



スリムモーター
P200-SMHシリーズ

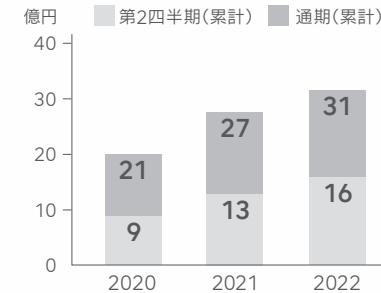


アタッチメント
P300 アタッチメント
シリーズ



外科用先端刃具
各種アタッチメント用パー
シリーズ

外科事業売上高の推移



2022年度・事業概況

地域	販売動向 前期比	概要
国内	↑	ディスプレイ安定供給が奏功し新規顧客を獲得
欧州	→	需要一服するもドイツ等が堅調で、前期並みに着地
北米	↑	製品への評価高く販売続伸。他社協業拡大で大幅増収
アジア	→	中国ではロックダウン明けに販売急伸し、売上横ばい
その他	↑	中近東では軟調となったが、南米での販売が大幅伸長

機工事業

Industrial Business

自動車・航空機・精密機器等、幅広い製造分野の超微細・精密加工で使用されるスピンドルおよびハンドグラインダーの開発・製造・販売を行っています。



工業用スピンドル
E-4000 シリーズ



工業用スピンドル
Air-Speedシリーズ

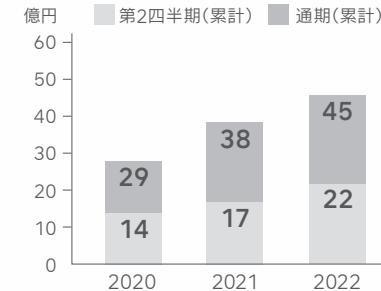


電動ハンドグラインダー
Emax EVolution



超音波研磨機
シーナスZERO

機工事業売上高の推移



2022年度・事業概況

地域	販売動向 前期比	概要
国内	↑	部品不足で旺盛な受注に生産が追いつかない状況が継続
欧州	↑	導入事例の訴求が奏功し、当社製品への切り替えが進展
北米	↑	営業体制強化が奏功し、受注拡大。案件こなし増収達成
アジア	↓	部品不足による納期長期化が常態化。出荷が進まず減収
その他	↓	南米は堅調に推移したが、豪州やその他地域で販売減少

中期経営計画「NV2025+」の進捗状況

コロナ禍という逆境を好機と捉え、当社事業は順調に規模を拡大してきました。市場における当社製品への需要は引き続き旺盛で、世界販売のベースラインが従来よりも大幅に高まっています。これらの需要増の局面にも的確に対応するべく、現在は生産能力の増強に向けた各施策を推進しています。

中期経営計画「NV 2025+」 基本方針と重点施策

1. テンタル事業のグローバル市場における戦略的拡大
2. 超高齢化のニーズに応える新規事業育成
3. スピーディな開発とダントツのコスト競争力を実現する経営基盤づくり

2022年度の進捗状況

- 2期連続で過去最高業績を更新
- 米国で大幅増収達成・シェア拡大
- 中国四川省に組立工場立ち上げ
- 「A1+」で部品増産・自動化に布石
- 新組立工場「M1」建設計画を推進



A1+工場竣工

2022年9月に竣工したのち、精密部品工場として24時間操業を開始しています。生産エリアの拡張余地も残しており、事業規模拡大に応じて設備を増強していく予定です。また、生産効率を追求した生産ラインを新たに構築。既存の生産ラインへの水平展開も視野に入れ、工場全体の生産性向上を目指していきます。



▲ A1+ 工場外観



▲ 精密部品生産エリア



▲ 4工程を1台に集約した新設ライン

中国工場の立ち上げ

重点市場である中国で持続的成長を確かなものにするべく、本社で生産した精密部品を組み立てるノックダウン生産工場「NSK Dental Manufacturing Co., Ltd.」を四川省資陽市に立ち上げました。今春から生産を開始する予定で、これにより中国政府による自国品優遇政策（バイ・チャイナ政策）に適應し、中国市場での売上拡大を図ります。



新工場「M1」建設計画の推進

A1+工場の竣工で部品加工の能力UPが目途がつき、その後の工程を担う組立工場および部品・完成品倉庫「M1」の建設計画を鋭意遂行中です。生産量UP・効率UP・リードタイム短縮等を図るのはもちろん、省エネ設備の導入や職場環境改善に意欲的に取り組み、生産増強とコストダウン、そしてサステナビリティを高次元で実現する最新鋭の工場を目指します。



アルフレッド・イエガー社の買収

2022年12月にドイツ所在の産業用スピンドル専門メーカー「Alfred Jäger GmbH」を買収しました。当社の機工事業とイエガー社はいずれも産業用スピンドル製品の開発・製造・販売を手掛けるものの、製品ラインアップ・主力アプリケーション・主力市場がそれぞれ異なります。両社製品のクロスセルを通じて、事業シナジーの創出を目指していきます。



創業: 1967年 会社設立: 2000年 所在地: ドイツ
主力製品: 高周波スピンドル 従業員数: 約120名



▲ 本社・モーター工場



▲ スピンドル工場



▲ 製品ラインアップ



▲ 主力アプリケーション
歯科 CAD/CAM

2022年度・サステナビリティピックアップ

さらなる企業価値向上に向け、中期経営計画の遂行とサステナビリティ重要テーマの実現を目指しています。

Environment

A1工場・本社工場において カーボンニュートラル達成

(GHGプロトコル Scope1・2)

- 2021年 5月 温室効果ガス排出量を算定
- 8月 グリーンプラン2030を発表
- 12月 本社工場・A1工場で再生可能エネルギーに100%切替
* Scope2カーボンニュートラル達成
- 2022年 9月 森林吸収プロジェクト由来のJ-クレジット購入
* Scope1カーボンニュートラル達成
- 10月 カーボンニュートラル第三者証明を取得

Social

障がい者雇用優良事業所表彰 理事長努力賞を受賞

(栃木県障がい者雇用表彰)



Governance

指名・報酬委員会を設置

(取締役会の任意の諮問機関)

構成

委員長: 中西 英一 (代表取締役)
委員: 野長瀬 裕二 (独立社外取締役)
: 荒木 由季子 (独立社外取締役)

活動

7月1日 委員会設置
8~12月 期間中 計4回開催 (オンラインおよび対面)

Rating

ESG評価機関のスコア改善

(MSCI・Sustainalytics)

MSCI

2020年 **B**
2021年 **BB**
2022年 **BBB**

Sustainalytics

2020年 **High Risk**
2021年 **High Risk**
2022年 **Medium Risk**

株主還元について

■ 株主還元方針

当社は株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題のひとつと位置付け、事業基盤の強化や成長領域への投資を適正かつ積極的に推進しつつ、株主の皆様への利益還元をバランスよく行ってまいります。

将来の成長投資に必要な内部留保を考慮した上で、中期的な利益還元の基準を総還元性向50%として、機動的な自己株式の取得と安定的かつ継続的な増配を行うよう努めてまいります。

■ 2022年度の配当実績

2022年度の期末配当につきましては、期初に公表した配当予想から4円増配し、1株あたり24円といたしました。これにより、年間配当金の総額は、既にお支払いしている中間配当金22円と合わせて、1株当たり46円となりました。

■ 2022年度の自己株式の取得実績

当社は株主還元の指標として総還元性向50%を掲げています。当期の業績動向に基づき、上記のとおり増配を実施するとともに自己株式の取得を行いました。期中に3回、計1,010,500株、総額2,499百万円相当を取得しました。

■ 2023年度の配当予想

2023年度は景気の先行きに不透明感が高まるものの、需要は堅調に推移すると想定しています。このような状況を踏まえ、2023年度配当予想は中間配当・期末配当ともに1株あたり24円、年間配当金総額48円（連結配当性向37.2%）とさせていただきます。

■ 株主還元の推移

* 2018/04 株式分割(1:3)

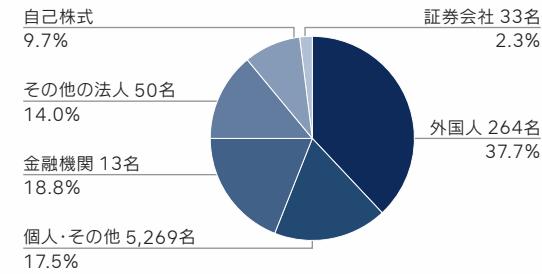


	2018実績	2019実績	2020実績	2021実績	2022実績	2023予想
年間配当金 (円)	31.00	30.00	30.00	37.00	46.00	48.00
配当性向(連結) (%)	35.4	36.6	40.3	31.7	31.6	37.2
総還元性向(連結) (%)	35.4	36.6	40.3	43.5	51.5	-

株式の状況 (2022年12月31日現在)

- 発行可能株式総数 …………… 375,000,000株
- 発行済株式の総数 …………… 94,259,400株
- 株主数 …………… 5,630名

■ 株式分布状況



■ 大株主(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	7,896千株	9.3%
ナカニシE&N株式会社	4,530千株	5.3%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	4,514千株	5.3%
JP MORGAN CHASE BANK 385632	3,618千株	4.2%
株式会社オフィスナカニシ	3,120千株	3.7%
公益財団法人NSKナカニシ財団	3,021千株	3.5%
中西英一	2,814千株	3.3%
中西賢介	2,806千株	3.3%
中西崇介	2,781千株	3.3%
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	2,581千株	3.0%

(注) 1. 当社は、自己株式を9,105千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

会社概要 (2022年12月31日現在)

社名	株式会社ナカニシ
設立	1951年2月
代表者	代表取締役社長執行役員 中西英一
資本金	867,948,542円
従業員数	1,478名(連結)
本社	栃木県鹿沼市下日向700番地
事業所	本社・工場 東京事務所 大阪事務所
主要関係会社	NSK-America Corp.(アメリカ) NSK Europe GmbH(ドイツ) NSK France S.A.S.(フランス) NSK United Kingdom Ltd.(イギリス) NSK Nakanishi Dental Spain S.A.(スペイン) NSK Oceania Pty. Ltd.(オーストラリア) NSK Shanghai Co.,Ltd.(中国) NSK Dental Italy S.r.l.(イタリア) NSK Dental Korea Co.,Ltd.(韓国) NSK America Latina Ltda.(ブラジル) NSK Dental Nordic AB(スウェーデン) NSK RUS LLC(ロシア) Alfred Jäger GmbH(ドイツ)
主要取引銀行	足利銀行、みずほ銀行、三菱UFJ銀行、三井住友銀行

役員	代表取締役社長執行役員	中西英一
	代表取締役副社長執行役員	中西賢介
	取締役専務執行役員	鈴木正孝
取締役	野長瀬裕二	
取締役	荒木由季子	
取締役	汐見千佳	
常勤監査役	豊玉英樹	
監査役	澤田雄二	
監査役	馬来義弘	

(注) 1. 取締役 野長瀬裕二、荒木由季子、汐見千佳は社外取締役です。
2. 監査役 豊玉英樹、澤田雄二、馬来義弘は社外監査役です。